

令和2年度 まちの予算

令和2年度予算のポイント

①「財政の健全化」	有利な財源の確保に取り組むことで、現在の行政サービスを極力維持しながら、毎年、基金を取り崩している、極めて厳しい財政状況の改善に取り組みます。
②「人口減対策」	産業の振興、子育て支援、老後も安心、災害に強いまちづくりなど、施策を総合的に推進し、人口減対策のため、英知を結集し果敢にチャレンジします。

歳出の抑制に向けた取組と、国、北海道の有利な財源を最大限確保することにより、財源不足に対応する財政調整基金の取り崩しが予算ベースで約1億円減少しました。

この水準となったのは、平成24年度以来8年ぶり、新年度においても、全庁あげて収支改善に取り組むことにより、将来、必要な社会資本整備ができる、持続可能な、明るく元気な町、壮瞥づくりに向けた財政基盤ができてくると考えています。

各会計の予算額

会計名	令和2年度	令和元年度	比較	増減率
一般会計	35億6,500万円	39億5,900万円	△3億9,400万円	△10.0%
特別会計				
国民健康保険	4億6,380万円	4億6,600万円	△220万円	△0.5%
後期高齢者医療	5,220万円	4,860万円	360万円	7.4%
介護保険	3億7,990万円	3億4,500万円	3,490万円	10.1%
簡易水道	2億8,350万円	2億9,250万円	△900万円	△3.1%
集落排水	1億8,570万円	1億7,440万円	1,130万円	6.5%
合計	49億3,010万円	52億8,550万円	△3億5,540万円	△6.7%

全会計総額は49億3,010万円で、前年度と比べると3億5,540万円減少しています。主な減少要因は、一般会計における防災行政無線デジタル化や仲洞爺公営住宅整備、民間大規模建築物耐震改修補助等の大型事業の完了などです。

基金（町の貯金）残高見込額は15億6,059万円で、令和元年度末の見込額と比べると、1億2,449万円の減少となります。

町債（町の借金）残高見込額は46億6,439万円で、令和元年度末の見込額と比べると、1億6,187万円の減少となります。

一般会計歳入

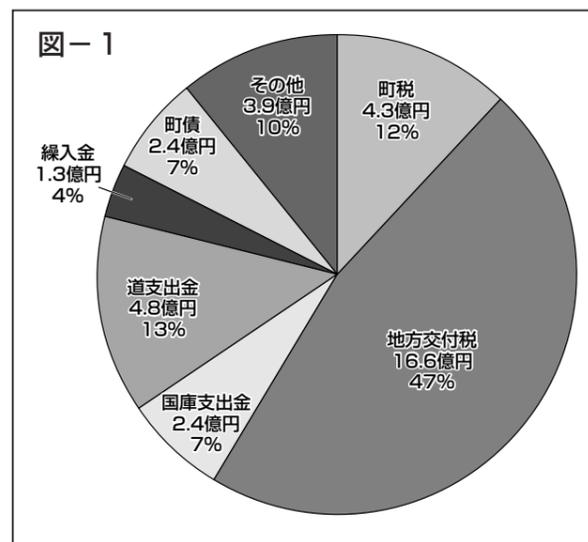
図-1は一般会計の歳入内訳です。

町税は、民間ホテルの新築による固定資産税や、税率引き上げに伴う入湯税の増などにより、4,771万円増の4億3,316万円としています。

地方交付税は、近年の実績や国の動向を踏まえ、2,300万円増の16億6,300万円としています。

繰入金は、町の基金（貯金）からの取り崩しで1億1,218万円減の1億3,050万円で、財政調整基金の取り崩しは9,100万円減の9,900万円となりました。

町債は、防災行政無線デジタル化事業の完了などにより、3億660万円減の2億3,510万円の借入れを予定しています。



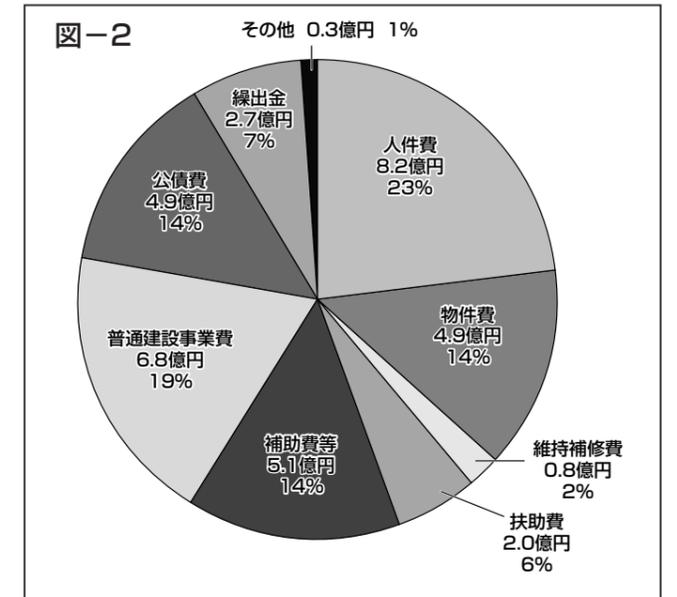
一般会計歳出

図-2は、性質別に分類したものです。会計年度任用職員制度の導入などにより、人件費は前年度から9,136万円増の8億2,259万円、物件費は前年度から5,419万円減の4億8,791万円としています。

普通建設事業費は、大型事業の完了に伴い、前年度から4億4,700万円減の6億7,965万円としています。

公債費は、借り入れた町債（町の借金）の返済経費で、4,594万円減の4億8,619万円としています。

返済額は平成25年度をピークに減少傾向にあり、「まちづくり交付金事業」の償還完了などにより減額となっております。



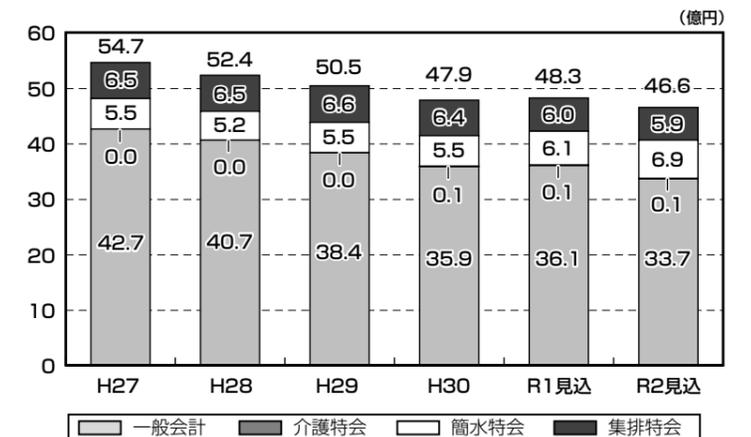
※令和2年度より臨時・嘱託職員は会計年度任用職員と改まり、物件費で賃金を計上しておりましたが、人件費に含まれるようになりました。

町債残高の推移（まちの借金）

町債残高は、大型事業の抑制などにより減少傾向にあり、一般会計と特別会計を合わせた総額で、前年度よりも減少します。

ただし、簡易水道事業特別会計においては、地方公営企業会計法適用化事業の増などにより、町債残高は増加することが見込まれます。

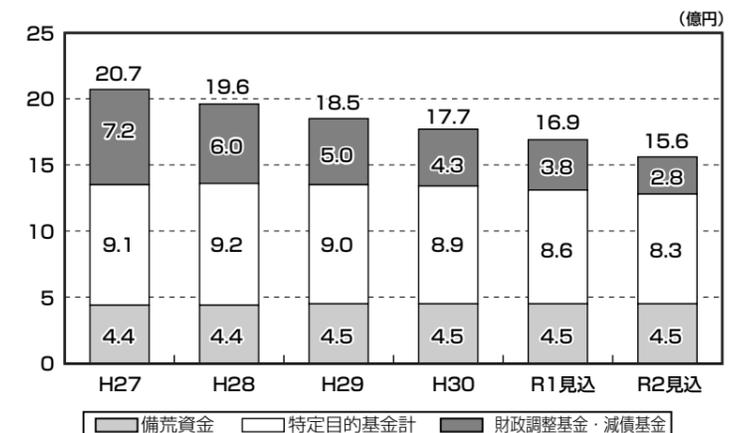
なお、町債の多くは、償還（返済）額の全部または一部が地方交付税として国から補てんされる有利なものを活用しています。



基金残高の推移（まちの貯金）

基金の取り崩しは次のとおりです。

- 財政調整基金 9,900万円
- 特定目的基金 5,327万円
- ・ 国鉄胆振線代替輸送確保基金 772万円
- ・ 地域振興基金 233万円
- ・ 国際交流基金 2,092万円
- ・ ふるさと応援基金 2,177万円
- ・ 森林環境譲与税基金 53万円



【お問い合わせ先】 壮瞥町役場企画財政課財政係 (☎66-2121)